

# 主要幹線道路（都市計画道路）の「今後の整備予定」に関する意見の概要と神戸市の考え方

意見募集期間：平成24年12月4日～平成25年1月11日

意見書数：10通

## 【全般に関する意見】

意見の概要	神戸市の考え方
都市計画道路の見直しを選択と集中により効率的・効果的な整備を行うという目標を持って進めることに賛同する。	選択と集中により効率的・効果的な道路整備を進めていくため、「今後の整備予定」を策定します。策定後は、着実な道路整備を推進するとともに、概ね5年ごとに整備の状況や見通しを適切に検証・評価し、その結果を必要に応じて反映していきます。

## 【整備優先度の考え方に関する意見】

意見の概要	神戸市の考え方
交通機能の視点	
高速道路のインターチェンジとの接続をスムーズにすべきである。	頂いたご意見の内容は、評価指標として考慮することとしています。
隣接する他都市との連絡を考慮すべきである。	
渋滞の発生状況を考慮すべきである。	
将来、交通量の増加が見込まれる路線は優先的に整備すべきである。	
通常時（日常）の危険性の解消を考慮すべきである。狭隘な現道の危険性を考慮すべきである。事故の危険性を考慮すべきである。	
歩道が未設置の区間、また狭隘な区間は優先的に整備すべきである。	
自転車の走行を考慮すべきである。	
現状で、バスや鉄道などの公共交通機関と接続する道路は優先的に整備すべきである。	鉄道駅との接続を評価指標として考慮することとしています。また、公共交通の利用促進の視点から、バス路線を評価指標として考慮します。
空間機能（防災機能）の視点	
災害等の非常時に円滑な交通処理ができるようにすべきである。	頂いたご意見の内容は、評価指標として考慮することとしています。
市街地形成機能の視点	
沿道の土地利用の活性化を考慮すべきである。	頂いたご意見の内容は、評価指標として考慮することとしています。
その他	
地元の要望の大きさを考慮すべきである。	主要幹線道路は、交通機能、空間機能、市街地形成機能に着目して評価指標を選定し、整備優先度を検討します。

※個別路線に関する意見については、参考意見として取り扱っています。